

### 第3期山形県医療費適正化計画の実績に関する評価（概要）

#### 1 実績評価の位置づけ

- 県では、住民の生活の質の維持及び向上を確保しつつ、今後医療費が過度に増大しないようにしていくとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るため、平成30年3月に第三期山形県医療費適正化計画（計画期間：平成30年度～令和5年度）を策定
- 計画期間の終了に伴い、高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、計画の実績に関する評価を行うもの

#### 2 医療費の動向

全国の令和5年度の国民医療費（実績見込み）は約47.3兆円となっており、前年度に比べ約2.9%増加している。そのうち約18.8兆円（全体の約39.8%）が後期高齢者の医療費となっている。

山形県の令和5年度の国民医療費（実績見込み）は約3,975億円となっており、前年度に比べ約0.2%増加している。後期高齢者の医療費についても、後期高齢者医療制度が開始された平成20年度以降、増加傾向にある。

#### 3 目標・施策の進捗状況等

##### （1）住民の健康の保持の推進関係

##### ①特定健康診査及び特定保健指導実施率並びにメタボリックシンドローム該当者及び予備群減少率

	目 標	実 績				
	R5年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
特定健康診査実施率	70%	63.9%	65.2%	64.4%	66.3%	67.5%
特定保健指導実施率	45%	28.9%	29.2%	28.9%	29.8%	30.6%
メタボリックシンドローム該当者及び予備群減少率	25%	15.0%	16.2%	15.0%	18.9%	20.5%

出典：レセプト情報・特定健診等情報データ

- 特定健康診査及び特定保健指導の推進、保険者による健康増進対策への支援及び県民の自主的な健康づくりの促進等を行った

##### ②喫煙率

	目 標	実 績	
	R5	H28年度	R4年度
20歳以上の喫煙率	12%以下	20.2%	17.2%

出典：県民健康・栄養調査

- 禁煙支援、たばこの健康影響や禁煙についての教育・普及啓発及び受動喫煙防止対策を実施した

### ③予防接種

	目 標	実 績					
	R5年度	H30年度	R1年 度	R2年 度	R3年 度	R4年 度	R5年 度
予防接種広域実施市町村数	35 市町 村	35 市町 村					→

- 市町村や県医師会等と連携した接種促進の取組みを行い、令和5年度までの間、35市町村による広域実施を毎年度継続することができた

### ④生活習慣病等の重症化予防の推進

	目 標	実 績				
	R5年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	90人以下	140人	132人	114人	125人	139人

出典：我が国の慢性透析療法の現状（日本透析医学会）

- 糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防事業の展開及び糖尿病による合併症予防等適切な医療を提供できる連携体制の強化を行った

### ⑤その他予防・健康づくりの取組

#### ア 歯と口腔の健康づくり

	目 標	実 績	
	R5	H28年度	R4年度
8020運動達成者の割合	50%以上	48.5%	57.2%

出典：県民健康・栄養調査

- かかりつけ歯科医を持ち定期的に歯科健診を受診することの重要性について、やまがた健康フェアや県ホームページ等で普及啓発を行った

#### イ 高齢化に伴い増加する疾患対策の推進

		目 標	実 績	
		R5	H28年度	R4年度
運動習慣のある高齢者	男性	58%以上	49.5%	54.8%
	女性	48%以上	47.2%	48.7%

出典：県民健康・栄養調査

- 「やまがた健康マイレージ事業」を市町村と協働で実施したり、「ウォーキング・プロジェクト」を展開し、県民の歩く習慣・運動習慣の定着を促進する取組を実施した

## (2) 医療の効率的な提供の推進関係

### ①後発医薬品の使用割合

	目 標	実 績					
	R5年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
後発医薬品使用割合	80%以上	79.9%	82.7%	85.0%	85.4%	86.7%	88.5%

出典：レセプト情報・特定健診等情報データ

- 「山形県ジェネリック推進協議会」の開催及び工場見学会の実施等の使用促進に係る事業を実施した

### ②医薬品の適正使用の推進

	目 標	実 績					
	R5年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
かかりつけ薬剤師を配置している薬局	85%以上	47.2%	48.2%	49.6%	50.3%	52.2%	53.1% ※

※ 令和6年5月1日現在

出典：東北厚生局「施設基準の届出受理状況一覧」

- かかりつけ薬剤師を配置している薬局を普及し、医療機関における医薬品の適正使用を推進した

## 4 医療費推計と実績の比較・分析

	①推計値 (適正化前)	②推計値 (適正化後)	③実績値	④推計値と実績値 の差 (③-②)
平成30年度	3,866	3,825	3,839	14
令和元年度	3,930	3,889	3,886	▲3
令和2年度	3,995	3,953	3,725	▲228
令和3年度	4,059	4,016	3,864	▲152
令和4年度	4,123	4,080	3,968	▲112
令和5年度 (実績見込み)	4,189	4,144	3,975	▲169

## 5 今後の課題及び推進方策

### (1) 住民の健康の保持の推進

- 第3期山形県医療費適正化計画における令和5年度の特定健康診査実施率、特定保健指導実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群者の減少率は、概ね上昇している
- たばこ対策及び生活習慣病等の重症化予防の推進については、目標の達成が難しいため、引き続き各種取組を行う必要がある
- 予防接種については、引き続き市町村や県医師会と連携した接種促進の取組を実施していく

- その他予防・健康づくりの推進として、歯と口腔の健康づくり及び高齢化に伴い増加する疾患対策の推進を行い、目標値に届かない項目があったものの、一定程度の取組の効果があつたと考えられるため、引き続き各種取組を行っていく

## (2) 医療の効率的な提供の推進

- 令和5年度までに後発医薬品の使用割合を80%とする目標については達成されたものの、医薬品の適正使用の推進にかかる目標については実績との差異が大きくなっているため、引き続き第4期山形県医療費適正化計画においても、関係者の更なる取組をより一層促す必要がある

## (3) 今後の対応

- (1) 及び (2) 等に対応するため、住民の健康の保持の増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組を加速する必要がある
- 第4期医療費適正化計画においては、高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防の推進や医療資源の効果的・効率的な活用及び医療・介護の連携を通じた効果的・効率的なサービス提供の推進といった計3項目の取組を新たに記載しており、このような取組の実施や進捗状況についての分析を行うこととしている